

オートグリーク取扱説明書

手動ポンプ (KSP-105)

分配弁 (KU, KJ, KM, KL)

Ⓔ 広和株式会社

2019.1.16

1. 装置の概要

この給油装置は給油ポンプ（KSP-105）と分配弁（KU, KJ, KM, KL）それに配管に依り構成されています。

ポンプの操作に依って圧送されたグリース又はオイルは、分配弁に依って定量分配されて、そして軸受に給油されます。

グリース又はオイルが完全に給油されたかどうかは分配弁の指示棒の往復運動に依って確認することが出来ます。

指示棒が1往復すれば、給油が全て完了したということを示します。

2. 機器の操作

2-1 給油ポンプKSP-105

この給油ポンプKSP-105は「オートグリーク」と呼ばれる給油装置用として使用するものでグリース用又はオイル用のタンクのどちらかが付いております。

(1) ポンプ操作

このポンプは、ハンドルを前後に動かすとピストンが作動して、タンクのグリース又はオイルを吸い込み、ポンプチェッキを通して外部に吐出します。

タンクは透明な合成樹脂で出来ており、外から油量が容易に確認出来ます。

（スチールタンクの場合は、タンクのレベルロッドで油量を確認出来ます。）

油の吐出口はハンドルの左側に設けてあります。

(2) グリース又はオイルの補給

グリース用の場合

グリースの補給はポンプ本体に設けられた補給口（M12, P1.25）から、チューブ詰めグリース（300gr）又はグリース充填ポンプを使用して行います。

グリースは稠度350程度のもを使用します。

この時、空気、ゴミ等をグリースに混入させないように注意して下さい。

（注）タンクの上部のフタ及びフオロワープレートをとるとゴミ、空気等の混入の原因になりますので、絶対にフタは取らないで下さい。

オイル用の場合

オイルの補給はタンクのフタを取り外して清浄なオイルを補給します。

オイル補給口のフィルターは常に清潔を保つようにして、ゴミ等が付着した場合には、直ちに洗浄して下さい。

(3) 空気抜き作業

ポンプ部に誤って空気を吸い込んだ場合（ハンドル操作に手応えが無くなる）エアー抜きバルブを緩めてハンドルを操作します。エアー抜きバルブより空気が抜けてグリースが出始めたら閉じます。

(4) ポンプハンドルが異常に重い場合

ハンドルが異常に重い場合は給油管のつぶれ、又は分配弁の不具合です。

その場合は、分配弁のオーバーホール（分解掃除）を行って下さい。

3. 点 検

全機器の取付、配管及びグリースの補給が終わりましたら下記の点検を行なって下さい。

3-1 ポンプのエアー抜きを行います。

エアー抜きバルブを緩めながらポンプハンドルを操作してください。

3-2 ポンプハンドルを動かした時、分配弁の指示棒が往復するようでしたら、取付は完了です。

3-3 配管継手の所からグリースがもれていないかどうかチェックして下さい。

4. 保 守 点 検

グリースの圧送は装置の各部分にグリースが充満していることが条件です。中に空気、異物が入っているとうまく行きません。

4-1 状 況

- a. ハンドルを動かしても手応えがない。
- b. ハンドルを動かす回数が非常に多くなる。
- c. 分配弁の指示棒が動かない。
- d. ハンドルを動かしてもタンク内のフォロワープレートがかすかに上下に動くだけでグリースが吸い込まれなくなる。

4-2 原因とその対策

原因	対策
グリースの補給中空気が入った。	グリース充填ポンプを点検する。
タンクが空に気付かず、ハンドルを動かした。	タンクにグリースを補給し、空気抜きを行う。
管内に空気が入っている。	配管工事中に管内にグリースを満さなかった。依ってグリースを満す。
ポンププランジャ内、分配弁に空気が入っている。	ポンプ吐出口から空気抜き。

4-3 装置内に異物が入っている場合

状 況

- a. ハンドルが動かない。
- b. 分配弁の指示棒が動かない。

4-4 原因とその対策

各機器をポンプ→分配弁と調査します。原因は異物である場合が多いようようです。

調査個所は、ポンプの場合

- a. ポンプハンドル反対側のチェッキバルブ部 ----- 洗油で清浄にする。
- b. プランジャのカジリ。

プランジャは精密仕上げの為、ポンプは現場状況に応じて清浄にし、又は交換する。

c. 分 配 弁

分配弁にグリースを送っても指示棒が作動しない（この際配管は外しておきます）時、分配弁は3～8本のピストンが入っている簡単な構造ですがいずれも精密仕上げをしてあり、これにゴミがカジルと動きませんので現場状況に応じて内部の清浄後再組立又は交換して下さい。

- d. 配管中のゴミのつまり又は給油管のつぶれ

配管を交換する。

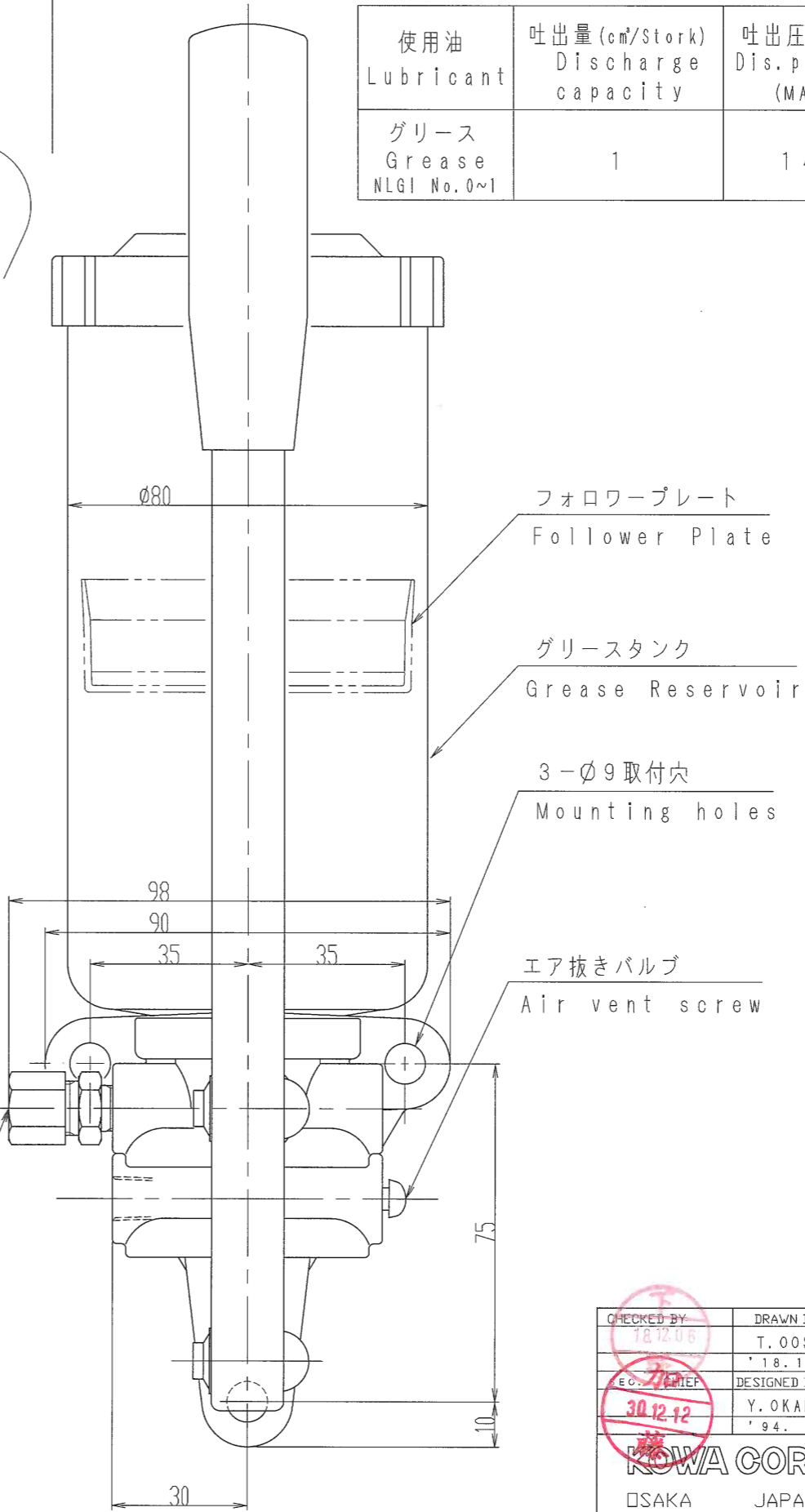
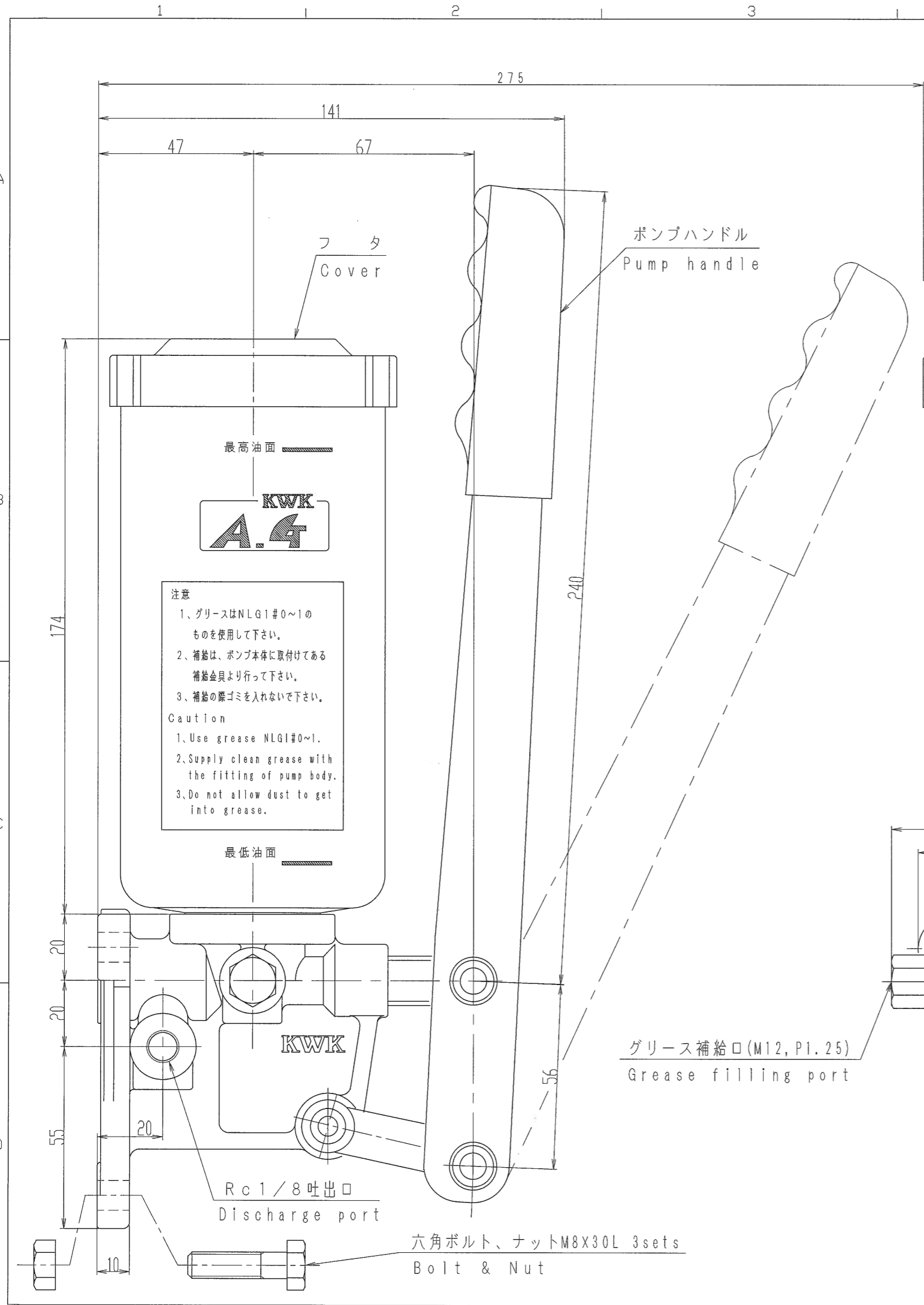
5. 使用グリース

使用グリースは、NLGI No.0～1（稠度 310～385）を使用して下さい。

改訂REV	改訂内容 DESCRIPTION	日付DATE	修正SIGN
△	ハンドル変更	6.1.31	岡本
△	単位、使用グリースNo.、銘板変更、他	18.12.4	大隅
△			
△			

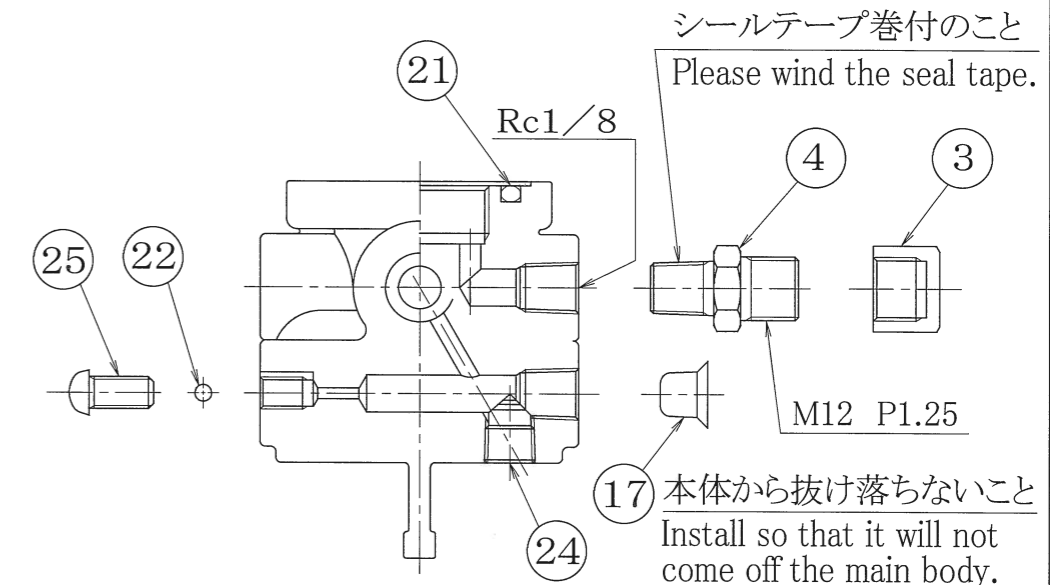
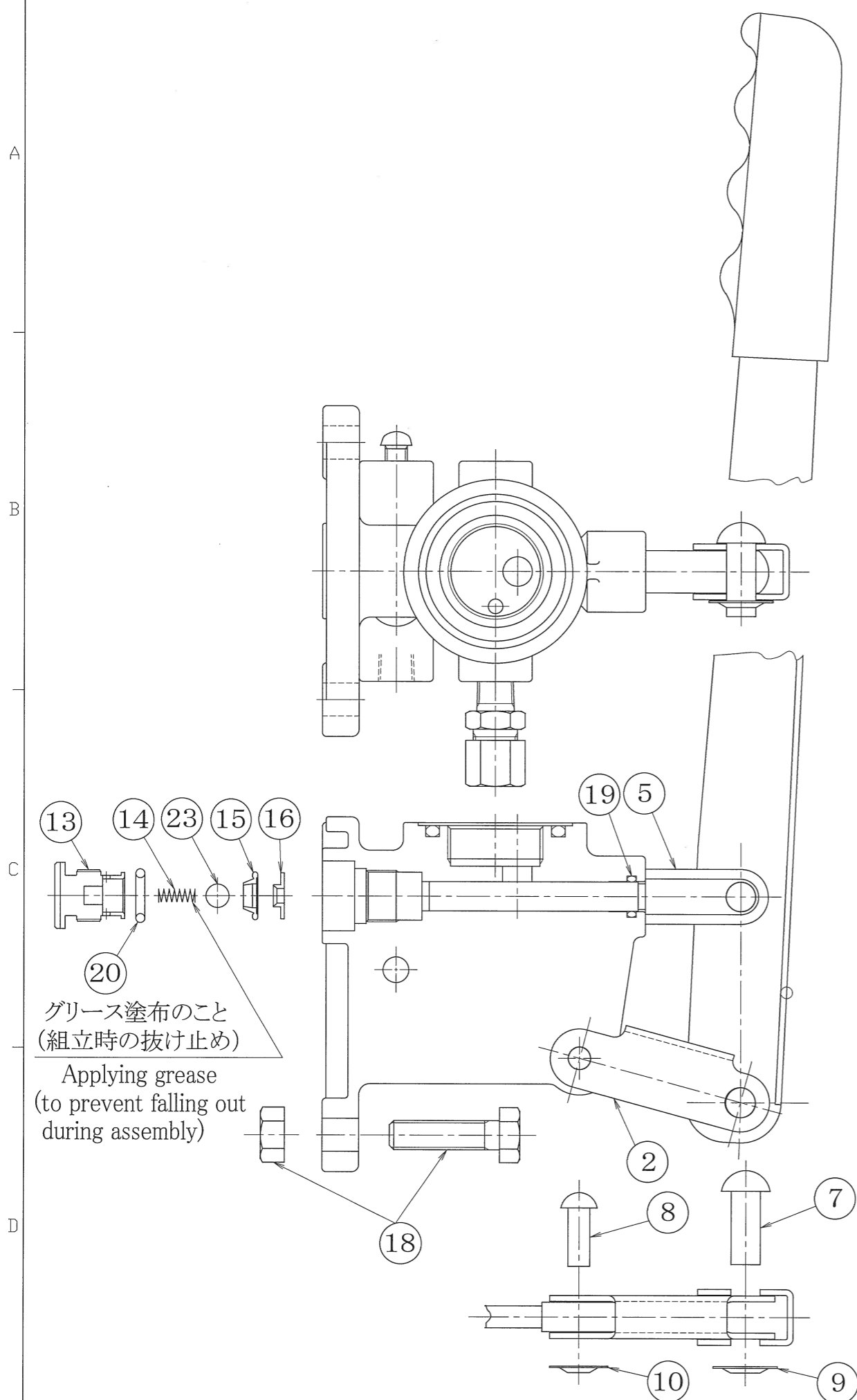
仕様
Specification

使用油 Lubricant	吐出量 (cm ³ /Stork) Discharge capacity	吐出圧力 (MPa) Dis. pressure (MAX.)	タンク容量 (c.c.) Reservoir capacity	質量 (Kg) Mass
グリース Grease NLGI No. 0~1	1	14.7	550	1.5



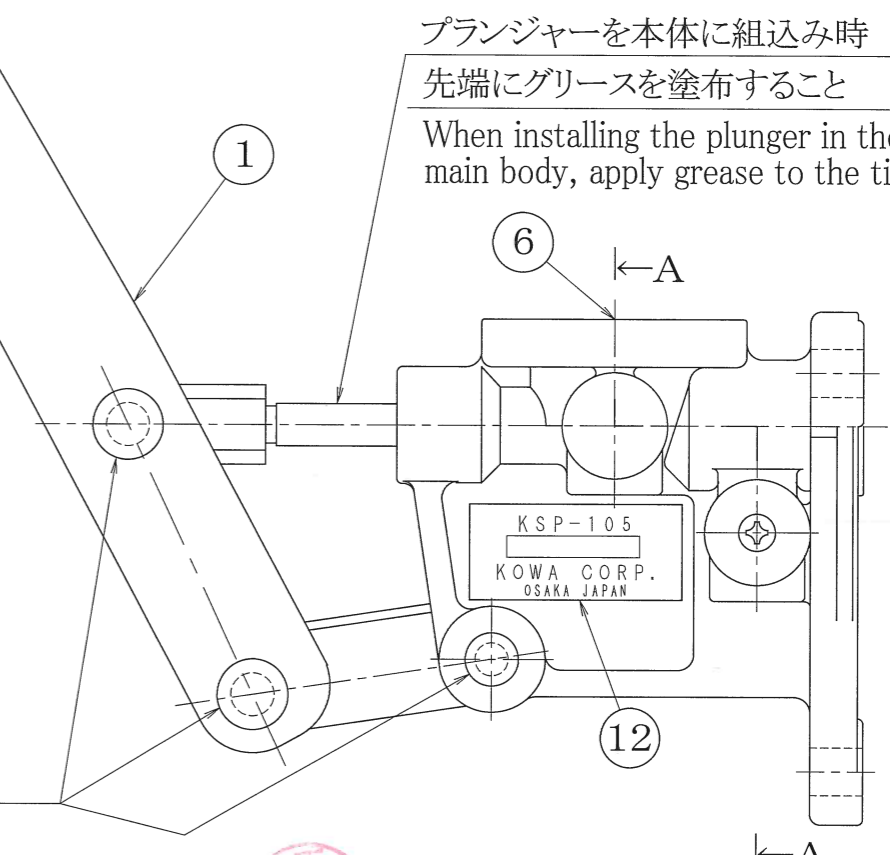
CHECKED BY 18.12.06	DRAWN BY T. OOSUMI 18.12.4	KSP-105 (グリース用) ポンプ組立図
DESIGNED BY 30.12.12	Y. OKAMOTO 94.1.31	
KOWA CORP. OSAKA JAPAN		DWG. No. KSP-105
3RD ANGLE PROJECTION		CFD. No. CODE No.
SCALE		

改訂REV	改訂内容 DESCRIPTION	日付DATE	担当者DESIGN
△	部品番号追加、エア抜き変更、英文併記	19.01.15	大隅
△			
△			
△			



SECTION A-A

プランジャーを本体に組み込み時
先端にグリースを塗布すること
When installing the plunger in the
main body, apply grease to the tip.



ピンとプッシュナットの組込みは
専用治具使用のこと
For installation of pin and bushing nut,
use special jig.

CHECKED BY 19.1.15	DRAWN BY T.OOSUMI	KSP-105 ポンプボディ分解図 KSP-105 Pump body Disassembly
DESIGNED BY 31.1.16	H.KATO	
OSAKA JAPAN		DWG. No. AKSP105 △
3RD ANGLE PROJECTION		CFD. No.
		CODE No. C1001
SCALE		1/1

KSP-105 ポンプボディ分解図 用品リスト

KSP-105 Pump body Disassembly parts list

品番 No.	名称 part name	部品番号 part No.	数量 quantity	備考 remarks
1	ハンドル KSP-105用 Handle for KSP-105	C1003	1	KS-803797
2	リンク金物 Link hardware	C1008	1	KS-804062
3	充填金具キャップ Filling fitting cap	C1015	1	KS-800154
4	KSPポンプ補給口金具 KSP pump supply port fitting	C1016	1	φ8X1/8 B1
5	プランジャ Plunger	C1017	1	KS-801472
6	KSP-105ポンプ本体 KSP-105 Pump body	C1018	1	KS-800037
7	丸リベット Round rivet	C1019	2	φ8×20L
8	丸リベット Round rivet	C1020	1	φ6×15L
9	ブッシュナット Bush nut	C1021	2	φ8
10	ブッシュナット Bush nut	C1022	1	φ6
11	ハンドルキャップ(青色) Handle cap (blue)	C1023	1	KS-804091
12	型式銘板KSP-105 Model nameplate KSP-105	V1001	1	KS-803674 50×18×40
13	チェック本体 Check body	X1001	1	KS-801474
14	チェックバックアップリング Check backup ring	X1002	1	KS-801475
15	シートパッキング Sheet packing	X1003	1	KS-800913
16	コイルスプリング Coil spring	X1004	1	KS-801477
17	エンドキャップ(赤) End cap (red)	X4001	1	KS-800867 RC 1/8
18	六角ボルト、ナット Hexagon bolt nut	Y9001	3	M8×30L
19	Oリング O ring	Z1105	1	1B P8
20	Oリング O ring	Z1108	1	1B P11
21	Oリング O ring	Z1117	1	1B P32
22	鋼球 Steel ball	Z2001	1	1/8(φ3.175)
23	鋼球 Steel ball	Z2005	1	1/4(φ6.35)
24	沈みプラグ Sunk head plug	Z5001	1	R1/8
25	十字穴付ナベ小ネジ Round head Phillips screw		1	M6×12L

シングルライン集中潤滑装置
オートグリーク集中潤滑装置
手動式給脂ポンプ

K S P - 1 0 5 - C G

(分配弁：K U - 4 ~ 1 2)

取扱説明書

広和株式会社

2019.4.17 作成

ま え が き

この度はシングルライン集中潤滑装置をご採用いただきありがとうございます。

この取扱説明書には KSP-105-CG 手動式給脂ポンプの給脂装置について、その取扱方法と保守方法が記述してあります。

ご使用に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または最終頁記載の弊社営業所までご連絡ください。

● 保 証

本装置の保証期間は稼働後 1 年間と致します。

保証期間中明らかに設計・製造に責任があると認められた場合の本装置の不具合につきましては無償修理申し上げます。

尚、保証期間中であっても、正常な磨耗による部品の修理・交換、もしくは本取扱説明書の説明と違った使用方法が原因で発生した事故等につきましては、保証いたしかねますのでご容赦下さい。

● 問 合 せ

本取扱説明書中で、ご不審や質疑のある場合につきましては本装置を納入申し上げました弊社特約店にお問合せ下さい。

● 部 品 注 文

本装置を納入申し上げました弊社特約店にご注文下さい。

安全上のご注意

- 据付、運転、保守点検の前に、必ずこの取扱説明書とその他の付属の書類をすべて熟読し、正しく使用して下さい。
機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用下さい。
- 本装置は最高使用圧力14.7MPa（150kg/cm²）の圧力になります。各機器を分解、点検する時は、必ずポンプの運転を停止し、圧力を開放し0MPa（0kg/cm²）として作業を行って下さい。

1. 概要

給油ポンプKSP-105-CG形は、手動式ポンプで市販400gカートリッジグリース専用ポンプです。

1-1 ポンプ操作

このポンプは、ハンドルを前後に動かすとピストンが作動して、カートリッジ内のグリースを吸い込み、ポンプチェック弁を通して外部に吐出します。

カートリッジグリースはカバー内にセットされ、外部から油量が確認できます。

1-2 カートリッジグリースの交換方法

カートリッジグリースが無くなりますと、ポリエチレンカバーを外し、カートリッジグリースの空ケースを反時計方向に廻して、新しいカートリッジグリースと交換して下さい。

交換の際、カートリッジは確実にポンプ本体にネジ込んで下さい。

ネジ込み不足の場合、エアーを吸い込みますのでご注意下さい。

1-3 空気抜き作業

カートリッジグリースを交換した時、ポンプを作動させエアー抜きバルブより空気を完全に抜いて下さい。

1-4 ポンプハンドルが異常に重い場合

ハンドル操作が重い場合は、給油管のつぶれ、又は分配弁のゴミ詰まりです。

装置を点検して下さい。

2. 給脂管へのグリース充填

配管完了後にポンプから分配弁間及び分配弁から軸受間の配管内にグリースを充填して下さい。

3. 点検

機器の取付、配管及びグリースの補給が終わりましたら下記の点検を行って下さい。

3-1 ポンプのグリース吐出プランジャ部のエアー抜きを行います。

ポンプ出口のエアー抜きビスを緩めるか又はグリースの吐出口Rc1/8に接続する継手を緩めながらポンプハンドルを操作して下さい。

手応えがあるようになったら空気抜きは完了です。エアー抜きビス又は継手を元通りに締めて下さい。

3-2 ポンプハンドルを動かした時、分配弁の指示棒が往復するようでしたら、取付は完了です。

3-3 配管継手の所からグリースが漏れていないかどうかチェックして下さい。

4. グリースの給油量

- (a) ポンプハンドル1往復でグリースが1 c c 吐出します。
- (b) 分配弁(KU-4~12)の全吐出口から吐出する為のグリースの量は
口数×0.3 c c です。
- (c) 従ってハンドルを1.2~3.6回操作すると、分配弁の各々の吐出口より
0.3 c c のグリースが吐出されることになります。
- (d) 1ヶ所当たり1 c c 必要な時は、
 $1\text{ c c} \times 4 \sim 12 = 4 \sim 12\text{ c c}$
 $4 \sim 12\text{ c c} \div 1\text{ c c} / \text{ポンプ1往復} = 4 \sim 12\text{ 回}$ となり、
KU-4であれば4回、KU-12であれば12回、ポンプハンドルを操作すればよい
こととなります。
- (e) これは給油の目安ですから、操作中は分配弁の指示棒を目で確かめて下さい。

5. 保守点検

グリースの圧送は装置の各部分にグリースが充満していることが条件です。中に空気異物が入ってうまくいきません。

5-1 ポンプに空気が入った時の状況

- (a) ハンドルを動かしても手応えがない。
- (b) ハンドルを動かす回数が非常に多くなる。
- (c) 分配弁の指示棒が動かない。
- (d) ハンドルを動かしてもグリースが吸い込まれない。

5-2 原因とその対策

原因	対策
グリースの補給中空気が入った。	充填ポンプを点検する。
カートリッジが空に気付かず、ハンドルを動かした。	カートリッジを交換し、空気抜きを行う。
管内に空気が入っている。	配管工事中に管内にグリースを満たさなかった。 よってグリースを満たす。
ポンププランジャ内、分配弁に空気が入っている。	ポンプ吐出口から空気抜きを行う。

5-3 装置内に異物が入った時の状況

- (a) ハンドルが動かない。
- (b) 分配弁の指示棒が動かない。

5-4 原因とその対策

各機器をポンプ→分配弁と調査します。原因は異物である場合が多いようです。

- (a) ポンプハンドル反対側のチェックバルブ部・・・・洗油で清浄にする。
- (b) プランジヤのカジリ。
シリンダ・プランジヤは精密仕上げの為、現場状況に応じて清浄にするか、又は交換する。
- (c) 分配弁にグリースを送っても指示棒が作動しない時（この際、分配弁以降の給脂配管は外しておきます。）、分配弁は3～6本のピストンが入っている簡単な構造ですがいずれも精密仕上げしており、これにゴミがカジルと動きませんので現場状況に応じて内部の清浄後再組立又は交換して下さい。
- (d) 配管中のゴミの詰まり
配管を交換する。（減多に有りません。）

（注記）分配弁内部の洗浄の時は、悪い部分だけでなく、全部洗浄して下さい。

これは内部部品全て作動上の関連がある為です。

6. 使用グリース

使用グリースはNLGI No.0（稠度：355～385）を使用して下さい。これ以上の場合でもNLGI No.1（稠度：310～340）を使用して下さい。No.2グリースはエア噛みを起こして正常に吐出しない場合が多いので使用しないで下さい。

※モリブデン又はグラファイト入りグリース

固体潤滑剤が入っているグリースはポンプの寿命（磨耗）に影響を及ぼします。

粒径が1 μ m以下であれば、ほぼ問題なく使用可能です。

粒径が1～3 μ m程度の場合は使用可能ですが、磨耗が激しくなります。

粒径が3 μ mを超える場合は使用できません。

銅、鉛などの金属の粉末が入っているグリースは使用できません。

KWK 推奨カートリッジグリース一覧表

(400g : J I S B 9 8 0 8)

《 ポンプ機種 》

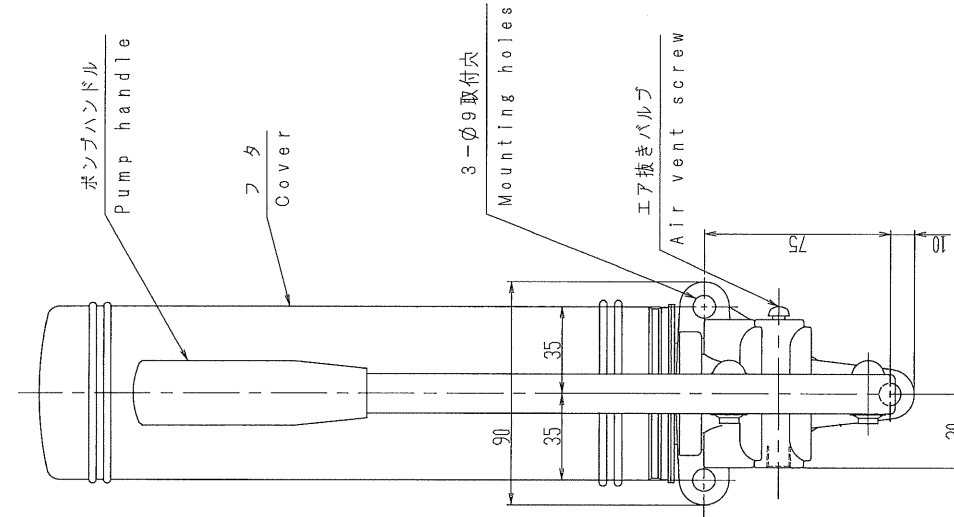
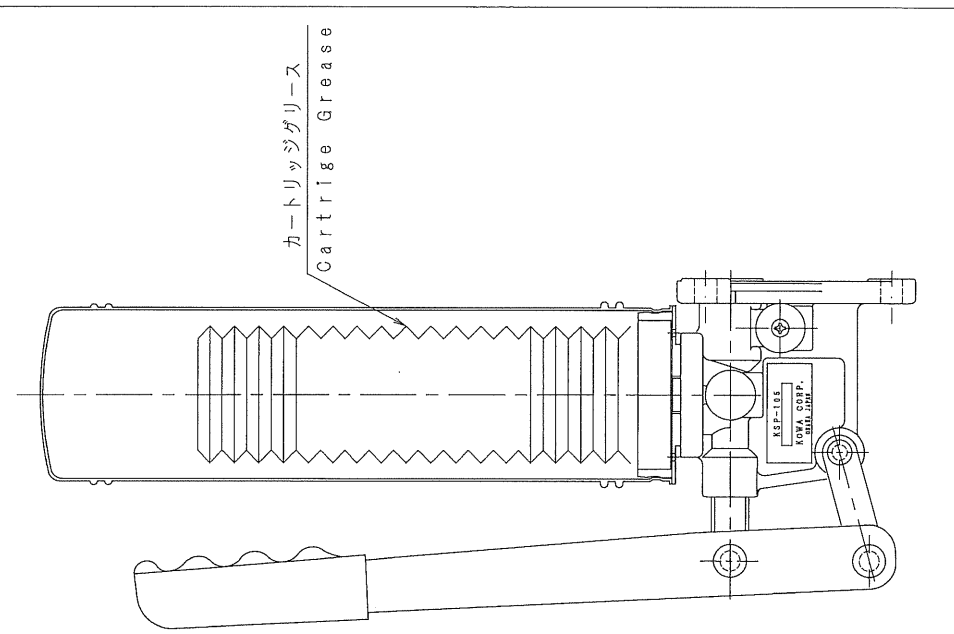
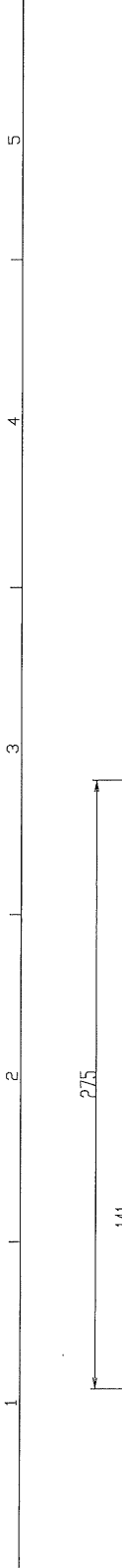
- ・手動式ポンプ K S P - 1 0 5 - C G
- ・電動式ポンプ K S P - 2 1 5 (6) - C G

上記広和製ポンプには下記メーカー品の中から選定して下さい。

下記以外のものを選定する時は当社にご相談下さい。

メーカー名	商品名	NLGI No.	石けん基
シェルブルリカンツジャパン	シェルアルバニヤグリースS	1	L i
出光興産	ダフニーエポネックスSR	1	L i
J X T G エネルギー	エピノックグリースAP	0, 1	L i
	シャシーグリース	1	C a
協同油脂	アルミックスHD	1	ウレア
	エクセライトEP	0, 1	L i
コスモ石油ルブリカンツ	コスモグリースダイナマックス	1	L i
	コスモグリースダイナマックスEP	1	
日本グリース	カートリッジシャシー	1	C a

REV	改定内容 DESCRIPTION	DATE	REVISION
△	ハンドルの変更	94.9.20	1
△	単位、使用グリースNo.、変更、他	94.12.4	2
△			

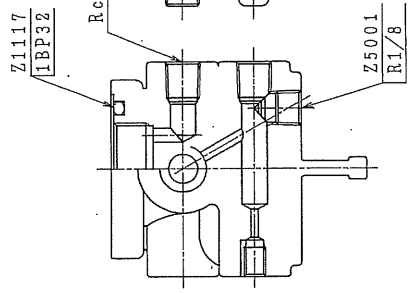
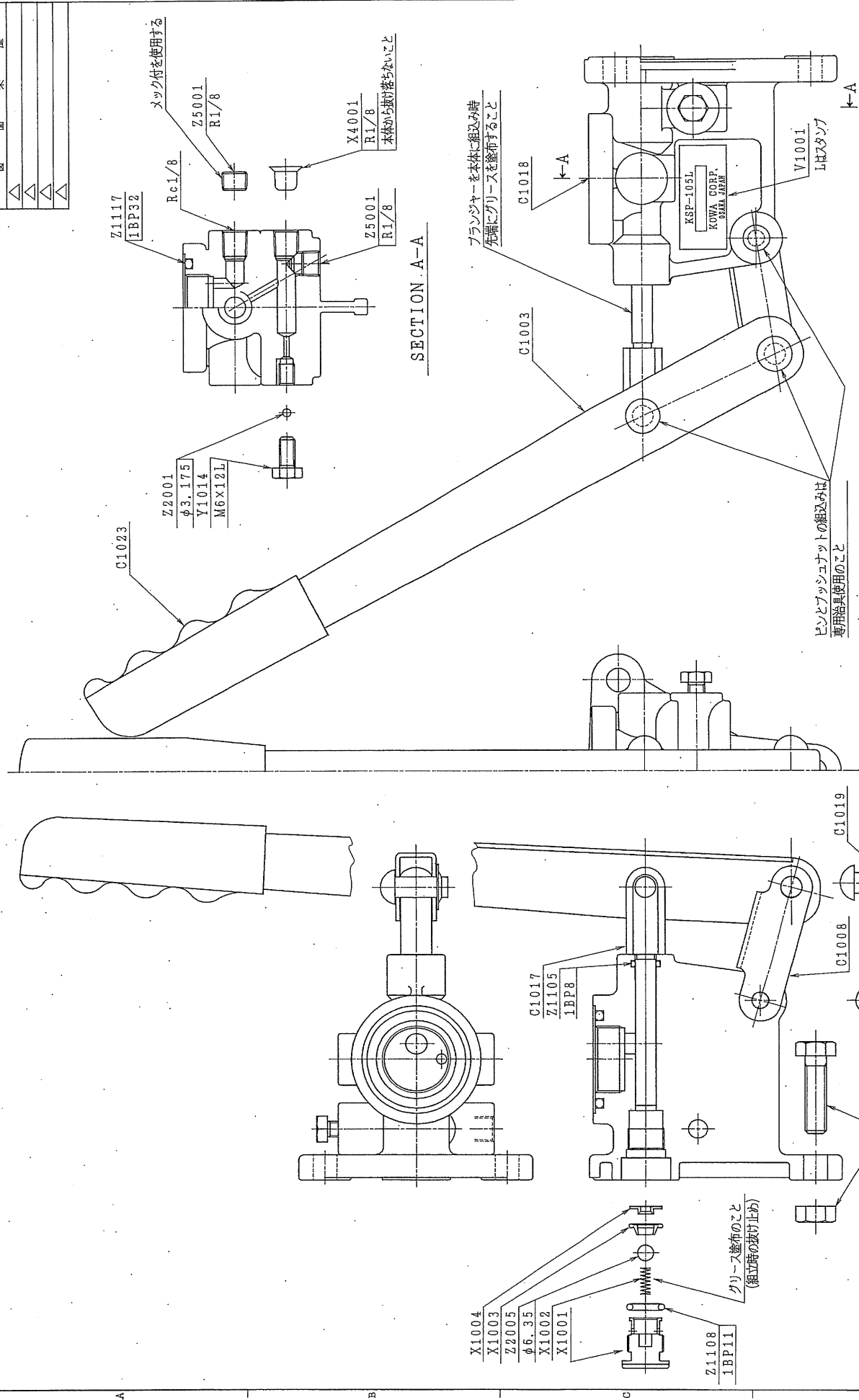


CUSTOMER	KSP-105-CG ポンプ組立図		
SPECIFICATION	DWG. No. KSP-105-CG		
CHECKED BY	DRAWN BY	I. OOSUMI	
DESIGNED BY	T. 18.12.4		
KAWA CORP. OSAKA JAPAN			
30 社印			
KAWA CORP.			
OSAKA JAPAN			
3RD ANGLE PROJECTION			
SCALE			

仕様 Specification

使用油 Lubricant	吐出量 (cm ³ /stroke) Discharge capacity	吐出圧力 (MPa) Dis. pressure (MAX.)	タンク容量 (c.c.) Reservoir capacity	質量 (kg) Mass
グリース Grease NLGI No. 0~1	1	14.7	400	1.5

六角ボルト、ナット M8X30L 3sets
Bolt & Nut



SECTION A-A

プランジャーを本体に組み込み時
先端にグリースを塗布すること

ピンとブッシュの組み込みは
専用治具使用のこと

KSP-105 CG
KOWA CORP.
OSAKA JAPAN

V1002
カートリッジグリース用

CHECKED BY	DRAWN BY	KSP-105 L	
	K. TANAKA	KSP-105-CG	
SEC. CHIEF	DESIGNED BY	ポンプボディ分解図	
	92.12.30		
	92.11.30		
KOWA CORP.		DWG. No.	AKSP105L
OSAKA JAPAN		CFD. No.	
		CODE No.	
		3RD ANGLE PROJECTION	SCALE
			1/1

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお問い合わせ致します。



広和株式会社

本社

〒554-0012 大阪市此花区西九条1丁目3番31号(広和ビル)

TEL (06)6462-7155(代表)

TEL (06)6462-7151(営業部直通)

FAX (06)6468-3298

東京支店

〒101-0038 東京都千代田区内神田美倉町12番地(MH 木屋ビル6階)

TEL (03)3253-3161(代表)

FAX (03)3253-3166

西日本支店

〒720-0054 広島県福山市城見町1丁目3番40号

TEL (084)923-0347(代表)

FAX (084)923-5414

市川工場

〒679-2303 兵庫県神崎郡市川町上瀬加474-1

TEL (0790)27-1313

FAX (0790)27-1314

シングルライン集中潤滑装置
オートグリーク集中潤滑装置
手動式給脂ポンプ

K S P - 1 0 5 - T G 1

(分配弁：K U - 4 ~ 1 2)

取扱説明書

広和株式会社

2019. 4. 17 作成

ま え が き

この度はシングルライン集中潤滑装置をご採用いただきありがとうございます。

この取扱説明書には KSP-105-TG1 手動式給脂ポンプの給脂装置について、その取扱方法と保守方法が記述してあります。

ご使用に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または最終頁記載の弊社営業所までご連絡ください。

● 保 証

本装置の保証期間は稼動後 1 年間と致します。

保証期間中明らかに設計・製造に責任があると認められた場合の本装置の不具合につきましては無償修理申し上げます。

尚、保証期間中であっても、正常な磨耗による部品の修理・交換、もしくは本取扱説明書の説明と違った使用方法が原因で発生した事故等につきましては、保証いたしかねますのでご容赦下さい。

● 問 合 せ

本取扱説明書中で、ご不審や質疑のある場合につきましては本装置を納入申し上げました弊社特約店にお問合せ下さい。

● 部 品 注 文

本装置を納入申し上げました弊社特約店にご注文下さい。

安全上のご注意

- 据付、運転、保守点検の前に、必ずこの取扱説明書とその他の付属の書類をすべて熟読し、正しく使用して下さい。
機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用下さい。
- 本装置は最高使用圧力14.7MPa（150kg/cm²）の圧力になります。各機器を分解、点検する時は、必ずポンプの運転を停止し、圧力を開放し0MPa（0kg/cm²）として作業を行って下さい。

1. 概要

給油ポンプKSP-105-TG1形は、手動式ポンプで市販400gカートリッジグリース専用ポンプです。

1-1 ポンプ操作

このポンプは、ハンドルを前後に動かすとピストンが作動して、カートリッジ内のグリースを吸い込み、ポンプチェッキ弁を通して外部に吐出します。

カートリッジグリースはカバー内にセットされ、外部から油量が確認できます。

1-2 カートリッジグリースの交換方法

カートリッジグリースが無くなりますと、カートリッジケースを取外し、カートリッジグリースの空ケースを反時計方向に廻して、新しいカートリッジグリースと交換して下さい。

交換の際、カートリッジは確実にポンプ本体にネジ込んで下さい。

ネジ込み不足の場合、エアーを吸い込みますのでご注意下さい。

カートリッジケースのバネを引っ張り、その後、急に放したりするとケースカバーを損傷し、ケガをする恐れがありますので、ゆっくりと外して下さい。

1-3 空気抜き作業

カートリッジグリースを交換した時、ポンプを作動させエアー抜きバルブより空気を完全に抜いて下さい。

1-4 ポンプハンドルが異常に重い場合

ハンドル操作が重い場合は、給油管のつぶれ、又は分配弁のゴミ詰まりです。

装置を点検して下さい。

2. 給脂管へのグリース充填

配管完了後にポンプから分配弁間及び分配弁から軸受間の配管内にグリースを充填して下さい。

3. 点検

機器の取付、配管及びグリースの補給が終わりましたら下記の点検を行って下さい。

3-1 ポンプのグリース吐出プランジ部のエアー抜きを行います。

ポンプ出口のエアー抜きビスを緩めるか又はグリースの吐出口Rc1/8に接続する継手を緩めながらポンプハンドルを操作して下さい。

手応えがあるようになったら空気抜きは完了です。エアー抜きビス又は継手を元通りに締めて下さい。

3-2 ポンプハンドルを動かした時、分配弁の指示棒が往復するようでしたら、取付は完了です。

3-3 配管継手の所からグリースが漏れていないかどうかチェックして下さい。

4. グリースの給油量

(a) ポンプハンドル1往復でグリースが1cc吐出します。

(b) 分配弁(KU-4~12)の全吐出口から吐出する為のグリースの量は
口数×0.3ccです。

(c) 従ってハンドルを1.2~3.6回操作すると、分配弁の各々の吐出口より
0.3ccのグリースが吐出されることになります。

(d) 1ヶ所当たり1cc必要な時は、

$$1cc \times 4 \sim 12 = 4 \sim 12cc$$

$$4 \sim 12cc \div 1cc / \text{ポンプ1往復} = 4 \sim 12回 \text{ となり、}$$

KU-4であれば4回、KU-12であれば12回、ポンプハンドルを操作すればよい
こととなります。

(e) これは給油の目安ですから、操作中は分配弁の指示棒を目で確かめて下さい。

5. 保守点検

グリースの圧送は装置の各部分にグリースが充填していることが条件です。中に空気異物が
入ってうまくいきません。

5-1 ポンプに空気が入った時の状況

(a) ハンドルを動かしても手応えがない。

(b) ハンドルを動かす回数が非常に多くなる。

(c) 分配弁の指示棒が動かない。

(d) ハンドルを動かしてもグリースが吸い込まれない。

5-2 原因とその対策

原因	対策
グリースの補給中空気が入った。	充填ポンプを点検する。
カートリッジが空に気付かず、ハンドルを動かした。	カートリッジを交換し、空気抜きを行う。
管内に空気が入っている。	配管工事中に管内にグリースを満たさなかった。 よってグリースを満たす。
ポンププランジャ内、分配弁に空気が入っている。	ポンプ吐出口から空気抜きを行う。

5-3 装置内に異物が入った時の状況

- (a) ハンドルが動かない。
- (b) 分配弁の指示棒が動かない。

5-4 原因とその対策

各機器をポンプ→分配弁と調査します。原因は異物であることが多いようです。

- (a) ポンプハンドル反対側のチェックバルブ部・・・・洗油で清浄にする。
- (b) プランジャのカジリ。
シリンダ・プランジャは精密仕上げの為、現場状況に応じて清浄にするか、又は交換する。
- (c) 分配弁にグリースを送っても指示棒が作動しない時（この際、分配弁以降の給脂配管は外しておきます。）、分配弁は3～6本のピストンが入っている簡単な構造ですがいずれも精密仕上げしてあり、これにゴミがカジルと動きませんので現場状況に応じて内部の清浄後再組立又は交換して下さい。
- (d) 配管中のゴミの詰まり
配管を交換する。（減多に有りません。）

（注記）分配弁内部の洗浄の時は、悪い部分だけでなく、全部洗浄して下さい。

これは内部部品全て作動上の関連がある為です。

6. 使用グリース

使用グリースはNLGI No.0（稠度：355～385）を使用し、これ以上の場合でもNLGI No.1（稠度：310～340）、No.2（稠度：265～295）を使用して下さい。No.3（稠度：220～250）はエア－噛みを起こして正常に吐出しない場合が多いので使用しないで下さい。

※モリブデン又はグラファイト入りグリース

固体潤滑剤が入っているグリースはポンプの寿命（磨耗）に影響を及ぼします。

粒径が1 μ m以下であれば、ほぼ問題なく使用可能です。

粒径が1～3 μ m程度の場合は使用可能ですが、磨耗が激しくなります。

粒径が3 μ mを超える場合は使用できません。

銅、鉛などの金属の粉末が入っているグリースは使用できません。

仕様	改定内容	DISCUSSION	DATE	REVISION
△				
△				
△				
△				

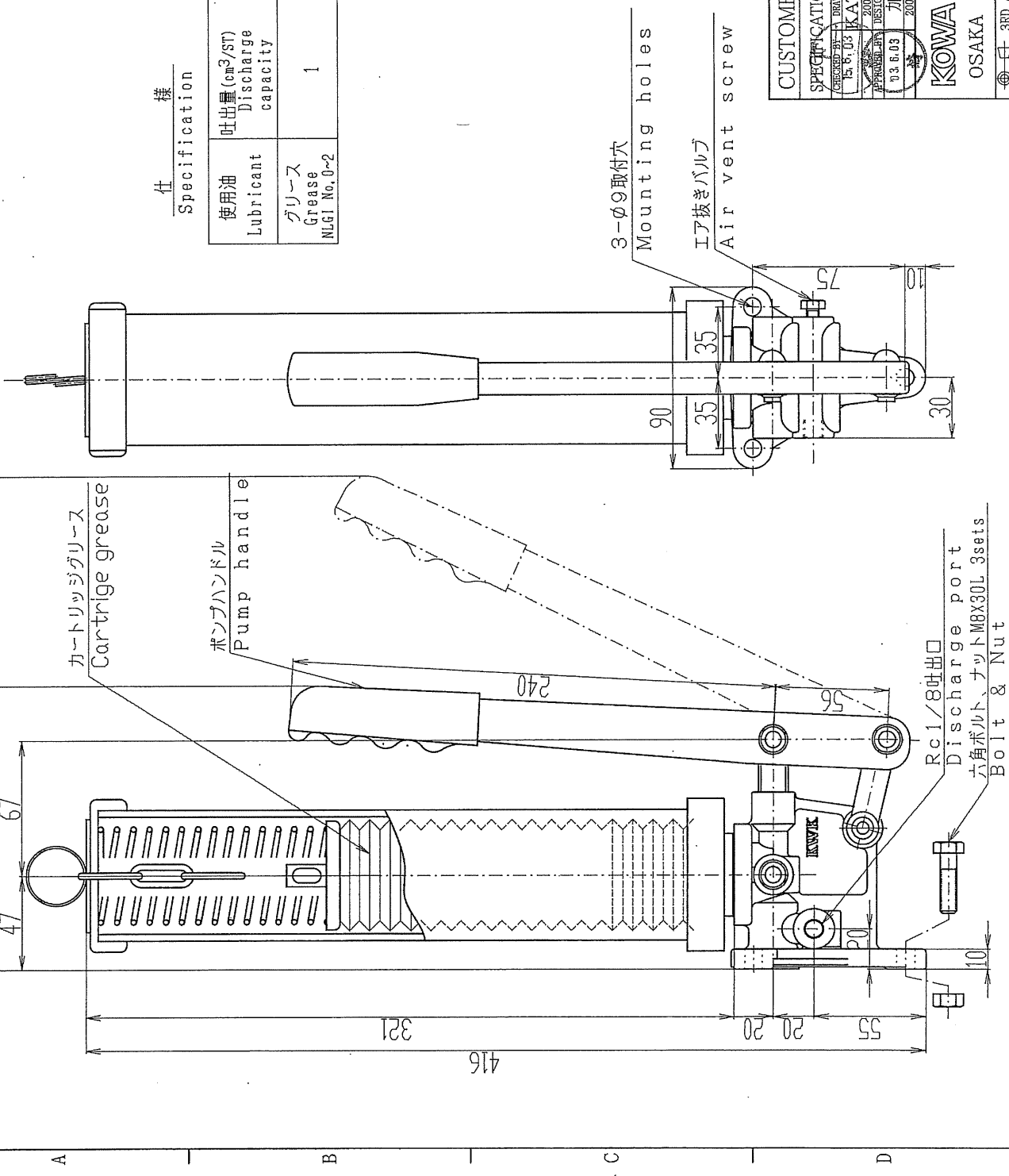
5

4

3

2

1



仕様
Specification

使用油 Lubricant	吐出量 (cm ³ /ST) Discharge capacity	吐出圧力 (MPa) Dis. pressure (MAX.)	タンク容量 (cm ³) Reservoir capacity	質量 (Kg) Mass
グリース Grease NLGI No. 0~2	1	14.7	400 (カートリッジグリース)	1.9

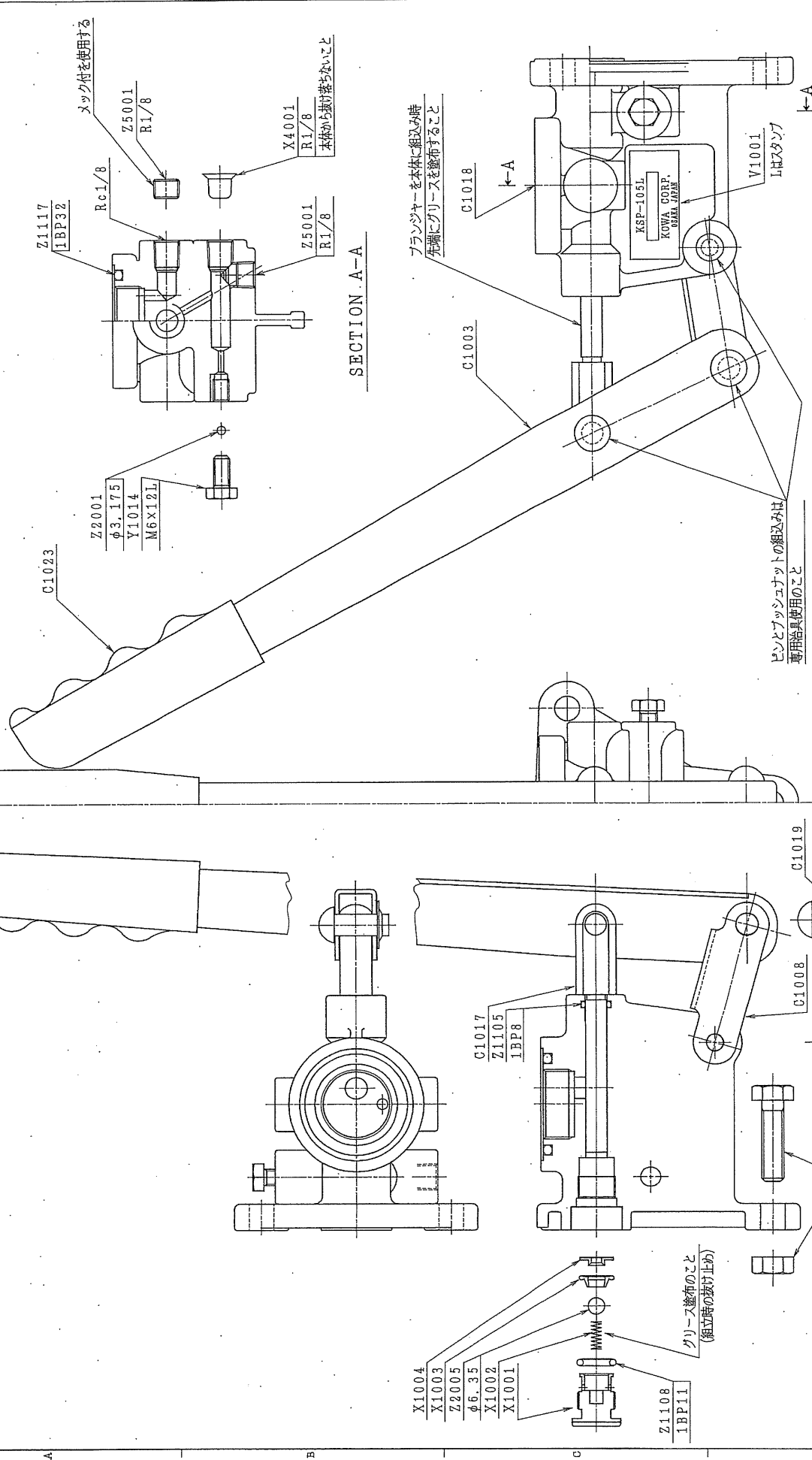
CUSTOMER	
SPECIFICATION	
DESIGNED BY	加藤
DRAWN BY	KATOU
CHECKED BY	加藤
DATE	2003.6.3
APPROVED BY	加藤
DATE	2003.6.3

KSP-105-TG1 (グリース用)
ポンプ組立図
DWG. No. KS-804909
CFD. No.
CODE No.
標準部数
A.3
出図日

3RD ANGLE PROJECTION	SCALE	DATE OF ISSUE	MFG. No.
	1/2		

5
(A3)

6	図面未履
5	
4	
3	
2	
1	



SECTION A-A

フランジヤを本体に組み込み時
先端にグリースを塗布すること

ピンとブッシュナットの組み込みは
専用治具使用のこと

グリース塗布のこと
(組立時の抜付止め)

CHECKED BY	K. TANAKA
DESIGNED BY	92.12.20
DATE	92.12.20
KOWA CORP. OSAKA JAPAN	
DWG. No.	AKSP105L
OFF. No.	
CODE No.	

KSP-105L
KSP-105-CG
ポンプボディ分解図

KSP-105 CG
KOWA CORP.
OSAKA, JAPAN

V1002
カートリッジグリース用

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお問い合わせ致します。



広和株式会社

本社

〒554-0012 大阪市此花区西九条1丁目3番31号(広和ビル)

TEL (06)6462-7155(代表)

TEL (06)6462-7151(営業部直通)

FAX (06)6468-3298

東京支店

〒101-0038 東京都千代田区内神田美倉町12番地(MH 木屋ビル6階)

TEL (03)3253-3161(代表)

FAX (03)3253-3166

西日本支店

〒720-0054 広島県福山市城見町1丁目3番40号

TEL (084)923-0347(代表)

FAX (084)923-5414

市川工場

〒679-2303 兵庫県神崎郡市川町上瀬加474-1

TEL (0790)27-1313

FAX (0790)27-1314